

◇ 婚姻費用分担請求の調停(増額請求・減額請求を含む)を申し立てる方へ ◇

1 手続きの概要

別居中の夫婦の間で、夫婦や未成年子の生活費などの婚姻生活を維持するために必要な一切の費用(婚姻費用)の分担について、当事者間の話し合いがまとまらない場合や話し合いができない場合には、家庭裁判所にこれを定める調停又は審判の申立てをすることができます。調停手続を利用する場合には、婚姻費用の分担調停事件として申立てをします。

調停手続では、夫婦の資産、収入、支出など一切の事情について、当事者双方から事情を聴いたり、必要に応じて資料等を提出してもらうなどして事情をよく把握して、解決案を提示したり、解決のために必要な助言をし、合意を目指し話し合いが進められます。

なお、話し合いがまとまらず調停が不成立になった場合には自動的に審判手続が開始され、裁判官が、必要な審理を行った上、一切の事情を考慮して、審判をすることになります。

2 申立てできる方

- ・夫
- ・妻

3 申立先

相手方の住所地(実際に住んでいる住所)の家庭裁判所又は当事者が合意で定める家庭裁判所

4 申立てに当たり提出をお願いするものは、次のとおりです。

審理のために必要な場合は、書類や郵便切手の追加提出をお願いすることがあります。

(申立書提出の際、□のチェック欄を利用し、必要なものが揃っているかどうかご確認ください。)

- 下記の5に記載の書類
- 夫婦の戸籍謄本(全部事項証明書) 1通
- 申立人の収入関係の資料(源泉徴収票、給料明細、確定申告書等の写し)  
※個人番号(マイナンバー)が記載されている場合は、その部分をマスキングしてコピーしてください。
- 収入印紙 1,200円分
- 郵便切手 140円×1枚, 100円×2枚, 84円×6枚, 50円×2枚, 20円×4枚,  
10円×4枚, 5円×2枚, 2円×4枚 (1082円分)

5 申立てする方が、記入して提出する書類

1	<b>申立書</b>  <b>記載例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判所から、申立書の写しを相手方に送付します。</li> <li>・知られたくない住所等は、申立書には記載しないでください。</li> </ul>
2	<b>送達場所等の届出書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全の確保等の必要から住所や電話番号の非開示の希望の申し出があった場合には、原則的に非開示(住所等の記載された書面を見せたり、コピーさせたりしないようにすること)とします。</li> </ul>
3	<b>事情説明書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申立てに至った事情などを記載してください。</li> <li>・提出した書面は、相手方が見たり(閲覧)、コピー(謄写)をする可能性があります。</li> </ul>
4	<b>進行連絡メモ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調停の進行に関して、参考にするものです。</li> <li>・特別な事情がない限り非開示とします。</li> </ul>

6 申立てする方に読んでおいてほしい書類

1	<b>裁判所に書面を提出される方へ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判所に書面を提出する場合の注意書です。</li> </ul>
2	<b>情報の非開示を求める場合の取扱いについて</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出する書面に記載されている情報を相手方に対して非開示(見せたり、コピーさせたりしないこと)とすることを求める場合の説明書です。よくお読みください。</li> <li>・相手方に知られたくない情報が含まれた書面などを裁判所に提出するかどうかは、ご自身で判断してください。</li> </ul>
3	<b>家事調停のしおり(養育費・婚姻費用)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調停の進行についての説明書です。</li> </ul>

## 7. Q&A

Q1. 「婚姻費用」には、どのような費用が含まれるのですか。

A. 婚姻費用には、衣食住の費用のほか、出産費、医療費、未成熟子の養育費、教育費、相当の交際費などのおよそ夫婦が生活していくために必要な費用が含まれると考えられています。

Q2. 婚姻費用の分担額は、どのように決められるのですか。

A. 調停では、お互いの意向に基づいて話し合いが進められますが、その際、双方の資産、収入、支出、子の有無、子の年齢などを考慮していただくことになります。

Q3. 調停での話し合いがまとまらない場合は、どうなるのですか。

A. 調停は不成立として終了しますが、引き続き審判手続で必要な審理が行われた上、審判によって結論が示されます。